

きたかみちゅうぶこうぎょうようすいどう
北上中部工業用水道
(新北上浄水場)



建設中の浄水場

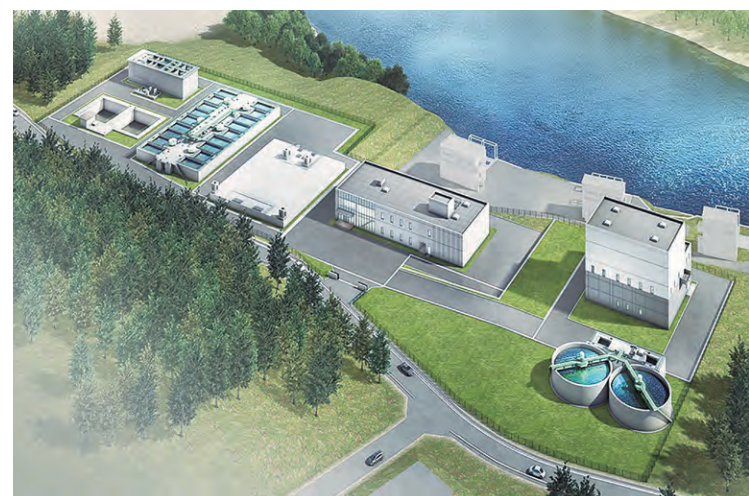
岩手県では、県内人口の減少の要因となっている若年層の県外転出等に歯止めをかけるため、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を創出しようと、企業誘致を積極的に進めています。

北上工業団地内に新たな企業が進出し、今後の規模拡大や関連産業企業の立地が期待され、北上工業団地における工業用水の需要の更なる増加が見込まれることから、工業用水を安定的に供給するために、新たな浄水場を建設しています。

なお、今後の工業用水需要の増加に応じて、段階的に浄水施設を整備していく計画となっています。



新北上浄水場（建設中）

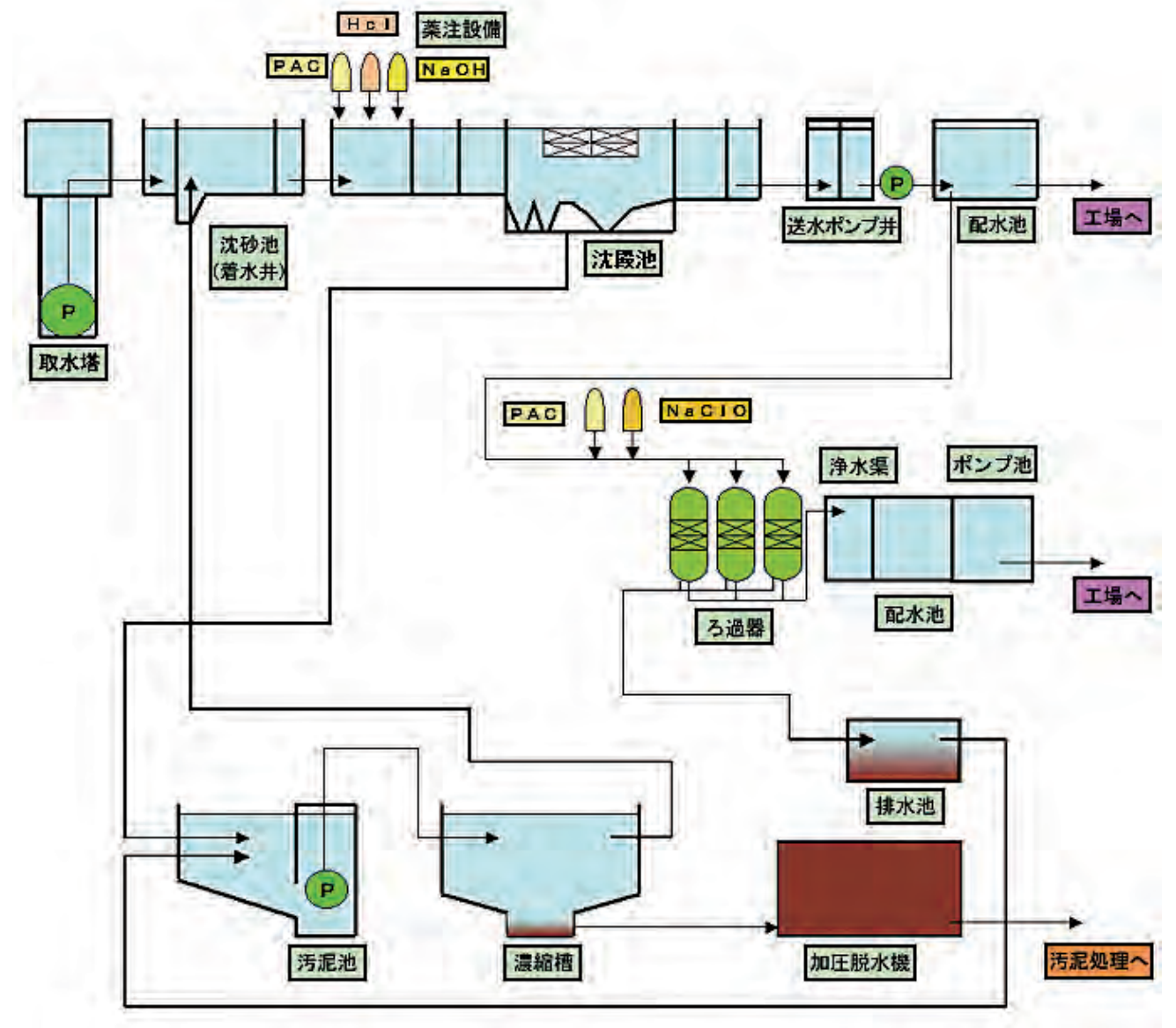


新北上浄水場完成イメージ図

	新北上浄水場
水源	北上川表流水（御所ダム）
取水地点	北上市二子町坊館
浄水場所在地	北上市二子町坊館
浄水場敷地面積	33,000㎡
取水量	64,800㎡
給水量	60,264㎡
建設期間	平成30～令和8年度
建設費	約176億円
給水対象区域	北上工業団地
給水開始（計画）	令和5年4月（第1期） 令和7年3月（第2期） 令和9年3月（第3期）
給水能力	114,762（北上中部工業用水道全体）

解説

工業用水道のしくみ



1. 河川やダムなどから工業用水の元となる水（原水）を取水します。
2. 原水は沈砂池を経由して沈殿池に運ばれます。
3. 沈殿池では、原水に薬品（※）を注入し、かくはん装置でかくはんします。やがて水と水に含まれている汚泥等に分離します。
4. これによりできた水が工業用水として配水池を経由して工場に運ばれるほか、さらに不純物を含まない工業用水を作るために、ろ過器に運ばれます。
また、3の過程により発生した汚泥等は、汚泥池を経由して濃縮槽に運ばれ、そこで、さらに水と汚泥等に分離され、水は原水として沈殿池へ運ばれ再利用され、汚泥等は加圧脱水機に運ばれます。
5. ろ過器では、薬品が注入され、さらに不純物を含まない工業用水（ろ過水）が作られ、配水池を経由して工場に運ばれます。
6. また、ろ過の過程で発生した汚泥等は、汚泥池を経由して濃縮槽に運ばれ、そこで、さらに水と汚泥等に分離され、水は原水として沈砂池へ運ばれ再利用され、汚泥等は加圧脱水機に運ばれます。
7. 4と5により加圧脱水機に運ばれた汚泥等は、水分を抜いたうえで、産業廃棄物として処理しています。

※薬品名

- PAC：ポリ塩化アルミニウム（凝集剤）
- HCl：塩酸（pH調整剤）
- NaOH：苛性ソーダ（pH調整剤）
- NaClO：次亜塩素酸ナトリウム（除鉄剤）